HOLSTEIN
ホルスタイン通信
2024-2

令和６年２月１日発行　通巻第 838 号
発行所　北海道ホルスタイン農業協同組合
〒001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-5
電話 011-726-3111　FAX 011-726-3135
ホームページアドレス https://www.holstein.or.jp
発行人　専務理事　柾　谷　智　史
編集者　参　事　渡　邊　時　三

主な項目

◆ 令和５年度 第56回 宇都宮賞 表彰者決定 …… 1頁
◆ 第49回組合員海外酪農視察研修報告 …… 4頁
◆ 未経産牛GNTP上位200（2023年11月（1）追加牛） …… 9頁
RIUSのこと、お話しします…10頁　Holstein Café「White」…10頁

令和5年度 第 56 回 宇都宮賞 表彰者決定

公益財団法人 宇都宮仙太郎翁顕彰会

表彰式：令和６年３月１日（金） 会場：札幌パークホテル

宇都宮仙太郎翁顕彰会（理事長：瀧澤 義一）は、１月15日に理事会を開催し、令和５年度の宇都宮賞として酪農経営の部に豊頃町の山口良一さん、酪農指導の部に旭川市の荒井正さん、乳牛改良の部に北見市の吉野英之さんを決定いたしました。ここに表彰の決定された方々の功績を紹介いたします。なお、表彰式は、宇都宮翁の遺徳を偲び、命日にあたる３月１日に祝賀会と共に挙行することにしています。

宇都宮仙太郎翁

令和４年度 第55回 宇都宮賞 表彰式

「酪農経営の部」　豊頃町　山口 良一さん

山口さんは、昭和47年に高校を卒業して就農し、「設備投資は自己資金を基本に、飼養頭数規模は自給飼料基盤に合わせ良質粗飼料を生産し飼養すること」を経営の信条とし、購入飼料価格の高騰など外的要因に左右されにくい自給飼料を中心とする経営基盤を構築し、牛舎や農作業機械などの設備投資を積極的に行い、個人経営ではトップレベルの規模に成長させて、堅実な経営を展開する模範経営です。飼料畑は採草地140haとデントコーン60haを栽培し、デントコーン畑に10アール当たり10トンの自家堆肥を毎年投入し、３年間の栽培後は採草地に転換し６年間牧草を生産するサイクルを確立し、良質な牧草の生産に努めています。生乳生産抑制の対応では、濃厚飼料を減らし自給粗飼料の給与量を増やして平均乳量11,000kgを搾っているが、牛の体調には全く

影響がない状態にあります。購入飼料価格高騰の外的要因の影響を受け厳しい経営環境がある中、山口さんが実践する良質な粗飼料生産を基本に自給飼料生産規模に合わせた適切な頭数による経営は、北海道の自給飼料基盤に立脚した持続的な酪農経営のモデルとして高く評価できます。

豊頃町　山口 良一さん

【地域への貢献】

地域では、農業機械センター理事として、自走式ハーベスターで直接刈り取れるダイレクトカッターの導入に尽力し、収穫作業の効率化と粗飼料の品質向上に寄与しました。また、豊頃町農協代表理事組合長や十勝酪農畜産対策協議会会長など酪農畜産関連組織の役員として多方面で活躍され、地域はもとより北海道酪農の発展に多大な貢献をされました。

【経歴】

S28　豊頃町に生まれる
S47. 4　就農
H 8. 4　とよころ農業機械センター 理事（～H27）
H21. 4　豊頃町農業協同組合　理事（～H22）
専務理事（～H24）
H24. 4～豊頃町農業協同組合 代表理事組合長（現在）
H23. 6　十勝酪農畜産対策協議会 常任委員（～H29）
R 5. 6～十勝酪農畜産対策協議会 会長（現在）
H24. 6　よつ葉乳業(株) 取締役（～R5. 6）
R 5. 6～よつ葉乳業(株) 取締役副社長（現在）
H29. 6　ホクレン組合飼料(株) 監査役（～R 2）
R 5. 6～ホクレン組合飼料(株) 取締役（現在）
H30. 6　十勝家畜市場運営委員会
委員長（～R2. 6）
委員（R2. 6～R4. 6）
R 1. 6　北海道農業協同組合中央会 監事（～R2. 6）
R 2. 6～北海道農業協同組合中央会 代表監事（現在）

「酪農指導の部」　旭川市　荒井　正さん

荒井さんは、酪農学園大学を卒業し、昭和49年に社団法人北海道家畜改良事業団（現、一般社団法人ジェネティクス北海道）に入団してからは、牛の改良増殖に欠かせない凍結精液業務に携わり、特に道内での性選別精液の実用化の実現を果たし、酪農経営の向上に寄与するとともに、北海道の酪農の発展に大きく貢献されました。道内での性選別精液の実用化に向けて、北米での性選別精液技術に着目し、平成11年度から技術導入に奔走し、12年には米国で特許使用権を独占する会社との間で研究・業務連携契約を締結し、性選別精液技術の導入を可能とし、13年には精子選別装置（フローサイトメーター）を導入しております。その後、機器操作の習得、性選別精液の生産・販売に必要なライセンス取得のために、高い品質レベルの精液処理技術の確立や野外試験の開始にあたり、リーダーとして指導力を発揮し、実用化に向けて大きな役割を果たしています。17年にライセンスを取得し、19年に道内で性選別精液を発売すると、需要の増加に対応して製造体制・施設の拡充強化に努め、二層式ストロー導入による受胎率の改善を指揮するなど、生産・供給体制の構築と性選別精液の品質向上、普及に尽力されました。こうした取り組みにより現在の雌性選別精液の乳牛への交配率は20％を超え、後継娘牛の効率的生産を実現し、酪農経営の安定に貢献しています。さらに、性選別精液技術は受精卵生産への利用による家畜の改良に活用されており、優良乳用雌牛育種集団の育成や、黒毛和種では道内産種雄牛の造成など和牛産地の確立にも貢献しました。また、長年にわたり性選別精液に関する技術・情報を道内の家畜人工授精技術員や生産者に提供し、乳牛改良の意識醸成に貢献されるとともに、家畜人工授精師や牛受精卵移植師の資格講習会運営組織の一員として、さらには北海道家畜人工授精師協会理事として、家畜人工授精・受精卵移植技術者の育成に尽力され、北海道酪農の発展に多大な貢献をされました。

旭川市　荒井 正さん

【経歴】

S26　旭川市に生まれる
S47. 3　酪農学園大学 酪農学部酪農学科 卒業
S47. 1　上川生産農業協同組合連合会 入会
（S49. 3 退職）
S49. 4　社団法人北海道家畜改良事業団 入団
（H13. 3 合併）
H13. 4　一般社団法人ジェネティクス北海道
H21. 6　〃　理事（～H22. 9）
H22. 9　〃　常務理事（～H26. 6）
H23. 6　一般社団法人北海道家畜人工授精師協会
理事（～H25. 6）

「乳牛改良の部」 北見市　吉野 英之さん

吉野さんは、酪農学園大学短期大学を卒業して、３年間の実習・研修を経て昭和63年に就農しました。父親の共進会に出陳する姿を見ながら、「自家生産牛で全道共進会に行くこと、エクセレント（ＥＸ）牛を作ること、最終的には毎日の搾乳が楽しくなるような牛群を作ること」を目標に、乳牛の資質向上を目指し乳牛改良に励み、牛群検定や体格審査に取り組んできました。これまで自家繁殖牛で規模拡大を図り、全道・全国の共進会で栄誉ある賞を受賞しているが、2023年北海道総合畜産共進会において「ヨシノファーム ドア リンリン号」がグランド・チャンピオン、「ヨシノファーム シャリオ号」がリザーブ・グランド・チャンピオンを同時受賞する快挙を道内の共進会史上初めて成し遂げ、体型改良に尽力されてきた長年の成果が高く評価されます。牛群検定では、平均乳量12,280kg、乳脂肪率4.02％の成績で、乳量、成分率の高い牛群を実現し、その能力を支える体型ではこれまで55頭のEX牛を輩出し、牛群体型審査では、平均体型得点85.5点、平均体型偏差値149.2と高いレベルにあり、遺伝評価では長命・連産性に富んだ牛群を作出しています。

北見市　吉野 英之さん

【地域への貢献】

地域では、北見ホルスタイン改良同志会や北見市酪農振興会等のリーダーとして長く活躍され、地域の牛群成績は管内や全道の平均を常に上回る成績を残しています。さらに、地元でのＴＭＲセンター設立に尽力され、設立後は、代表として良質な粗飼料の生産供給に努め構成員の経営改善に取り組むなど、地域の酪農振興に多大な貢献をされました。

【経歴】

S40　北見市に生まれる
S60. 3　酪農学園大学短期大学 卒業
S63. 4　家業に従事
H 3　北見酪農青年同志会　副会長（～Ｈ５）
会長（Ｈ５～Ｈ９）
H 8　北見ホルスタイン改良同志会
副会長（～H13）
会長（H13～H21）
H17　北見市乳牛検定組合　理事（～H20）
監事（H20～H23）
H26　北見市酪農振興会　理事（～H27）
副会長（H27～Ｒ３）
H30. 4～合同会社Dream Feed Kitami（ＴＭＲセンター）
代表社員（現在）

カナダ ホルスタイン 酪農とロイヤル・ウィンターフェア　報告

第49回組合員海外酪農視察研修

視察研修企画／デーリィマン社・北海道ホルスタイン農業協同組合

コロナ禍の影響により2019年以来4年振りとなった海外酪農視察研修（第49回）が、2023年11月7日～12日の6日間の日程で開催されました。この研修は、デーリィマン社との共催で行われ、当組合からは松原副組合長と影浦経済企画委員長および審査部の今野が参加いたしましたので、その概要を報告いたします。

【11月7日(1日目)】　カナダに向けて出発

今年度の参加者は、総勢20名(道内14名：本州5名：添乗員1名)であり、厳しい酪農情勢や円安の影響もあり例年よりも参加人数の少ない視察団となりました。

トロント空港到着

私を含む道内からの参加者は新千歳空港（一部羽田空港）に集合し、当組合柾谷専務より激励の挨拶をいただいたのち、デーリィマン社宮本次長、当組合柾谷専務、渡邊参事、下井参与に見送られ、本州参加者との合流場所である羽田空港へと向かいました。羽田で無事合流を果たし、松原副組合長を団長にいよいよトロント空港へ向けて出発となりましたが、搭乗の遅れや搭乗後の機内待機など計4時間近い遅れのトラブルがあり、トロント空港には現地時間22時過ぎに到着となりました。到着後も入国審査からなかなか出てこない方がいたりとトラブルが続き、ナイアガラ・フォールズのホテルに到着した頃には予約していたレストランは閉店時間となっており、各自部屋でお弁当を食べ就寝となりました。

【11月8日(2日目)】　牧場視察

この日はナイアガラ・フォールズ近郊の3牧場を視察するため、早朝からの移動となりましたが、前日のさまざまなトラブルから皆疲労が色濃くうかがえる様子でした。また、天候も昨日に続いて小雨で風も吹く寒い日で、疲れた体にはとても堪えるなかでの牧場視察となりました。

〔SUMMITHOLM　HOLSTEINS（サミットホルム牧場）〕

1軒目の視察先であるサミットホルム牧場は1947年に設立され、飼養形態はフリーストールミルキングパーラーで総頭数1,000頭、搾乳450頭、未経産550頭を飼養し搾乳は3回搾乳。平均能力M13,700kg、F4.4 %、P3.4%の成績。労働力としては6人のフルタイムと25人のパートタイムで業務を行っています。

耕作面積は400haで牧草200ha、デントコーン200haを作付し、使用精液の80%は肉用の種を使用し、ホル種の未経産牛には判別、経産牛にはノーマル精液を使用。5年前までは体型審査を受検していたが現在は未受検であるとのこと。体型審査を辞めた理由としては従業員達が審査に興味を示さず、それ以上に繁殖や体細胞、成分量の向上の方に興味を示しているためだそうです。また、餌の設計は3週間に1回変更し、年に2～3回獣医師、餌の設計担当など、出入り業者に集まってもらい打合せをおこなっています。

サミットホルム牧場では近郊に人口60万人の都市が位置している事もあり、事業の多角化として牛乳の加工を始め、加工品としてはミルク、チョコレートミルク、ストロベリーミルク、チーズで牛乳の配達も行っており、今後ヨーグルトも販売予定とのことで、この日の昼食会場として提供していただいた加工品の販売所が、6週間前にオープンしたばかりでした。

〔BOSDALE（ボスデール牧場）〕

２軒目のボスデール牧場は1948年にオランダから移住し1958年から牧場経営を始めており、2020年には３億円の投資をしてロボット３機を備えたフリーストール牧舎を新築し規模拡大を図り、現在は経産牛200頭を飼養、平均能力はM12,500kg、F4.1％、P3.7%の成績。体型は現在の最高得点はEX94点で、過去にはボスデール シヤトル レバテイーが EX96点を保有していました。耕地面積は690haで労働力は15人。ロボットは搾乳回数平均2.8回程度に調整し、入る率が悪い場合にはつなぎ牛舎へ移動となります。また、授精に関しては100% AIで不受胎の牛にのみETを移植するほか、販売目的での採卵を年に８回実施し販売価格は1,000～1,500ドルで、買い手のオーダーに合わせて血統及びショウの結果等で採卵します。現在使用している精液はノウハウ･ロングサイド・クラウンロイヤルです。

ボスデール牧場は、祖父は生産性のみを求め、父は体型を求めていました。息子さんは体型と生産性のバランスのとれた経営を目指しているとのことです。牛舎の牛を見ると肋の構造に優れ、乳房においても質感の良い前後の付着に優れた牛達が多い印象を受けました。

ボスデール牧場

〔WALNUTLAWN　HOLSTEINS（ウォルナットローン牧場）〕

最後の視察先であるウォルナットローン牧場は多くの有名な種雄牛を輩出しており、近年では多くのショウで娘達が活躍しているソロモンやサイドキックなどがそうである。

現在使用している牛舎は2020年２月に新築され、ロボット２機を備えたフリーストール牧舎で、ロボットの導入理由としては牛も人もストレスが少ないことが理由とのことでした。平均能力はM13,000kg、F4.1％、P3.3％の成績で労働力は経営主と妻の二人。耕地面積は160haで麦、大豆、コーンを作付しています。現在使用している精液は、サイドキック・ソロモン･アリゲーター･エンブロ･パーフエクト･レンジヤー･ラムダです。牛群の改良目標としては、体格を重視し胸の強さに重点を置き、続いて脂肪、繁殖能力、体細胞に焦点を置いている。この説明の通り牛舎にいる牛達は胸幅があり前肋から後肋にかけての開張に優れ、また腰角幅があり、体全体に強さのある牛達が揃っておりました。

現在ロボット２機で75頭を搾乳しているが、これはカナダのクオーター制（１日当たりの乳脂肪生産量）によって牧場の乳量が決められている為であり、実績をつくらないと増産できません。クオーター１kgの割り当ては「１日当たり１kgの乳脂肪を含む生乳」の生産が許可されていることに等しい。この数量は、経産牛１頭の１日当たり生乳生産に近いため、現地ではクオーター１kg≒「経産牛１頭を飼養する権利」とみなされることが多いと説明を受けました。

ウォルナットローン牧場

牧場視察後はホテル近くのレストランでこの旅初めての会食があり、ステーキを食べながら本日視察した牧場を話題に交流を深めました。その夜はカジノなどでナイアガラの夜を満喫しました。

【11月9日（3日目)】

いよいよロイヤル･ウィンターフェアを視察する日となりましたが、その前に世界３大瀑布のひとつナイアガラの滝を見学しました。展望台からではありましたが、滝壺から吹き上がる水しぶきや圧倒的な水量で壮大さを感じとれることができました。

ナイアガラの滝の見学後に一行はロイヤル･ウィンターフェアーの会場へ向けて出発となりました。

【11月10日（4日目)】

諸事情から私がショウを観戦できたのは３才シニアからでしたが、会場に到着した時にはリザーブグランドチャンピオンとなったMILKSOURCE所有のGLENIRVINE UNIX SALLYがちょうど入場するところで、本牛は特に体全体のバランスと乳用強健性に優れ、乳房においても前後乳房の付着･幅･形状に優れておりました。４歳クラスの審査が行われている間に会場を１周して様々な出店ブース等を見学し、再びショウ会場へ戻り５歳クラスと成牛クラスを観戦し、グランドチャンピオンに輝いたJACOBS所有のERBACRES SNAPPLE SHAKIRA ETを間近に見ることができました。本牛は特に肋の構造や乳用強健性に優れ、８才５産でありながらも肢蹄においては骨質鮮明であり、乳房の付着の強さや形状、質感に優れておりました。また、10月に行われたワールドディリーエキスポでもグランドチャンピオンに輝いており、エキスポとロイヤルでグランドチャンピオンという快挙を達成しております。

今年のプレミアエキジビターにはジムバトラー氏が選出され、プレゼンターの松原団長と影浦副団長より北海道ホルスタイン協会長賞の盾を贈呈しました。

プレミアエキジビター 北海道ホルスタイン協会長賞贈呈

リザーブグランドチャンピオン
３歳シニアクラス　ユニクス サリー　EX92

グランドチャンピオン　シヤキーラ　EX97

ツアー最後の日となった夜は、ホテル近くのレストランで分厚くとても柔らかいステーキを堪能して、本日のショウやツアーの思い出話をするなど楽しいひと時を過ごしました。

【11月11日（5日目）】

朝食終了後ホテルのロビーに集合したのちトロント国際空港へ移動し、通訳の森さんの見送りを受け帰国の途へ。羽田空港へ到着後ロビーにて解散式を行い、新千歳空港行きのフライトに乗継ぎ、午後10時過ぎに到着し全旅程を無事に終了いたしました。

今回の研修では、羽田からトロントへの出発の

飛行機が４時間以上遅れるなどの予期せぬことが起きましたが、私にとっては思い出深い視察旅行となりました。

最後に、この視察研修に参加されました皆様方始め、この視察研修に関わりいただきました全ての皆様方にお礼申し上げます。

（審査部審査課係長：今野）

今回の視察研修旅行に参加されました清水町の田中久美子さんから寄せていただきました。

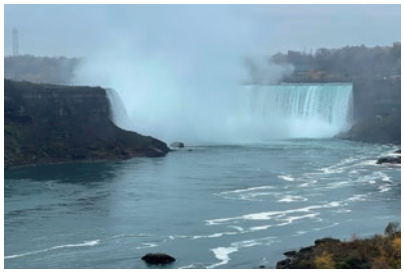
2023カナダ･ロイヤル･ウィンターフェア視察報告

令和５年11月７日～12日、北海道ホルスタイン農業協同組合およびデーリィマン社主催のカナダ･ロイヤル･ウィンターフェア視察旅行に参加しました。 コロナ禍の為４年ぶりの企画に参加させていただき、カナダの酪農情勢と世界最高峰の催しにふれる大変貴重な経験を得ることができました。

ツアーメンバーは北海道のみならず全国の酪農家や畜産関係団体に所属する方々、及び名鉄観光の添乗員の計20名の参加となりました。一行は羽田空港に集合の後一路カナダ･トロント･ピアソン国際空港へ移動しツアーがスタートしました。

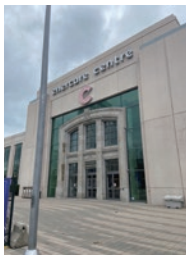
今回の視察は１日目にトロント周辺にある３戸の牧場を視察しました。

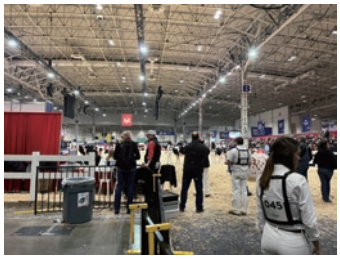
２日目の午前中はナイアガラフォールズの観光へ。クローズシーズンでしたので滝の水量も少なく観光客はまばらでしたが、やはり日本では見ることのできない壮大な自然に圧倒されとても感動しました。



午後からトロント市内に移動し、ロイヤル･ウィンターフェアの開催されているEXHIBITION PLACE, TORONTOへ。

会場には世界各国から沢山の見学者、また一般の市民の方が訪れており大変賑わっていました。ロイヤル･ウィンターフェアは畜産に関するもの全てにおいての催しです。牛のみならず、馬、羊、山羊、鶏など。そして加工製品のバターやチーズ、コーンや牧草までも序列付けされ期間中展示され触れることもできます。また搾乳や収穫に関する機械も展示されています。ホルスタインの幕舎も自由に見ることができ、沢山の名牛を近くで見ることができます。２日目の午後よりB&Wショー未経産クラスがSemexRingで開催されました。未経産のショーは会場内に仮設されたリングで牛を入場から見ることができ、リングサイドの間近で見学することができます。





2023.6.1以降産まれから始まり３ヵ月ごと７クラス、各部40頭前後の総頭数270頭前後の出陳となっていました。小さいクラスでは2023.7.2産まれ（４ヵ月齢）の牛がいました。バスの時間もあり最後まで見ることはできませんでしたが未経産牛の印象は、十分な胸幅、牛全体のバランス、肢蹄の正確かつ歩様の良い牛が上位に入賞していたように思われます。リング内ではとにかく牛は大人しく、沢山の見学者や大きなアナウンスの声や音がしても驚く牛はいませんでした。

出陳牛の血統に関しては日本と変わらないという印象でした。情報や精液の提供も早い時代ですので遅れはないかなと感じました。ただ輸入できない精液も多々あり残念な気もしました。ちなみにメス精液を含めカナダで作成されている凍結精液の輸出先は全世界で日本は３位、受精卵に関しては日本が１位の輸出先とのことでした。

３日目は早朝よりB＆Wショー経産牛のクラスが会場内のコロシアムで開催されました。

普段はアイスホッケーやバスケットボールの試合会場として利用されている施設をショーリングにしているそうです。リングサイドでは見学することができず、イメージでいうと野球観戦のような感じとなり、やや上からの見学となります。

経産は２歳未満クラスが２クラス、２歳が３ヵ月ごとに４クラスありました。３歳以上は日本と同じクラス分けとなっていました。

経産のショーで印象的だったことが２つありました。１つ目は２歳未満のクラスです。２歳未満は2021.12.1～2022.2.28産まれと2021.9.1～2021.11.3産まれの２クラスに分かれています。一番若い牛で2021.12.30日生まれの経産がいましたが20ヵ月での分娩している経産牛でした。となると授精は10ヵ月齢前後となります。カナダの酪農情勢も厳しく少しでも早く牛乳を生産しコストをかけずに長持ちする牛への改良、飼育管理が進んでいるそうです。

もう１つはインターミディエートの区分分けでした。３歳ジュニアまでをインターミディエートのクラスとしていました。正確な理由は今回得ることができませんでした。

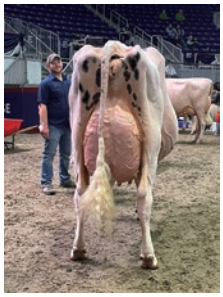
経産牛のショーを見た印象は、全体的に近くで見ると以前ほど大きな牛はいませんでしたが、骨格が正確で胸の強さがあり、バランスのいい乳房がしっかり体に付着している牛が多く、特に上位に入る牛はリングに入ると（黄金比のようなバランスといいますか…）どの角度から見ても圧倒する存在感がある牛が多かったと感じました。

４日目は早朝より空港へ向かい帰路につきました。実質３日間の滞在とハードなツアーでしたがとても充実した３日間でした。

最後になりますが、今回のツアーに際しましてホルスタイン農業協同組合、デーリィマン社の方々、名鉄観光の添乗員様には改めてお礼を申し上げたいと思います。また今回のツアーに参加し一緒に行動を共にした方々に対しましても、たくさん交流させていただいた事大変うれしく思っております。とても楽しく実りあるツアーとなりました。厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

（清水町酪農家 田中久美子）

グランドチャンピオン シヤキーラ　EX97

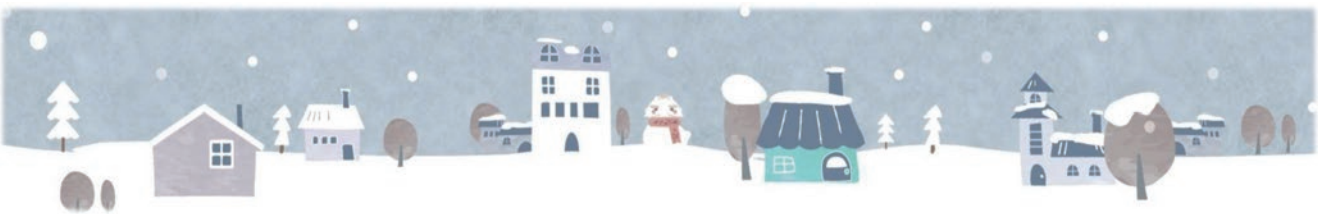


The Royal 101
AGRICULTURAL WINTER FAIR
NOVEMBER 3-12, 2023
Exhibition Place, Toronto

未経産牛GNTP上位200（2023年11月(1)追加牛）

独立行政法人家畜改良センターから、未経産牛 3,347 頭のゲノミック評価成績の追加計算が公表されましたので、2023-11 月公表分に追加し再度ランキングされた上位 200 相当の未経産牛を掲載します。

順位	登録番号	総合指数	名　　号	申込者
1	1536238158	+4,109	アミスター パワーハウス ダイアナ	中標津町　有限会社　工藤牧場
2	1485319830	+4,048	ハツピネス RAL PH フレーク	池田町　有限会社　ハッピネスホルスタインズ
3	1536238424	+3,875	アミスタ-T パワー ジユノ ET	中標津町　有限会社　工藤牧場
6	1461919634	+3,830	オムラ マツトクレスト パワーハウス	枝幸町　小椋　義則
7	1675037650	+3,769	アミスタ-GH レボリユ-シヨン ジラ ET	中標津町　有限会社　工藤牧場
20	1430225209	+3,612	Gシユタイナー パワー ラビツト SH バーゼル ET	標津町　おおいし牧場　合同会社
24	1536238363	+3,563	アミスタ-T パワー ジエム ET	中標津町　有限会社　工藤牧場
27	1485319922	+3,557	ハツピネス RAL PPH フライアー	池田町　有限会社　ハッピネスホルスタインズ
28	1672510873	+3,555	サンビレツジ WIS パワーハウス	剣淵町　村岡　潤一
35	1430225186	+3,518	Gシユタイナー パワー ラビツト SH ベルン ET	標津町　おおいし牧場　合同会社
43	1522716721	+3,490	スタークマツクス フラン リズモア	訓子府町　安岡　勝美
52	1662585416	+3,455	RE ボニー スウ カプレゼ ET	岩手県　独立行政法人　家畜改良センター岩手牧場
56	1567015315	+3,436	サウスヘブン ジユデイ マラミユート	天塩町　南條　正隆
60	1495317871	+3,426	ロツクシイール カプレゼ ラベージ	稚内市　石黒　茂雄
66	1681452096	+3,412	ホクレン グリーン カリメロ ブラリ フタゴ	訓子府町　ホクレン訓子府実証農場
70	1425823502	+3,404	ノア ハマニシキ パワーハウス	上川町　青木　光晴
75	1662585317	+3,389	WHG マーサ モナク ペイロード サード ET	岩手県　独立行政法人　家畜改良センター岩手牧場
80	1675037841	+3,372	アミスタ-T ハリウツド クロノ ET	中標津町　有限会社　工藤牧場
82	1673503171	+3,367	KON ハイジ ログ ハウス	枝幸町　今　賢二
85	1495318427	+3,361	テイ-ユ- MCN ジヤマイカ ET	美瑛町　上田　雅樹
88	1665311043	+3,350	ウインホープ キヤンデイス P	江別市　浜辺　一貴
102	1681452102	+3,312	ホクレン グリーン レプリカ ブラリ フタゴ	訓子府町　ホクレン訓子府実証農場
110	1426628267	+3,303	ストークランド ヘーズル パワーハウス モーガン	江別市　河野　愛
112	1554729287	+3,297	ブルームーン モデル リズ パウス	中標津町　株式会社　ブルームーンファーム
125	1573119717	+3,273	ハツピーライン オリンダ ET	上士幌町　吉田　智貴
125	1465319904	+3,273	マイエンフエルト カプレゼ ハイジ	湧別町　片岡　康太郎
134	1675037179	+3,257	アミスタ-T コンウエイ クロ ET	中標津町　有限会社　工藤牧場
138	1684019623	+3,252	セイコー シード メルビル ET	別海町　宗像　卓朗
144	1536238486	+3,243	アミスタ-T パワー ジエノ ET	中標津町　有限会社　工藤牧場
145	1656617338	+3,234	V チヨコバナナ パフエ ET	苫前町　株式会社　ビレッジファーム
188	1495318342	+3,174	テイ-ユ- GD スタイリツシユ ET	美瑛町　上田　雅樹



登録情報活用システム

RIUS（ライアス）のこと、お話しします！

研修会の様子

【連絡先】
011-726-3112（登録部証明課　直通）

立春が近づきつつも春の気配はもう少しというところですが、この季節は各地の同志会や青年会等の皆さまは学びの機会を設けることも多いかと思います。

当組合では2023年11～12月に道内の６団体から依頼を受け、４団体は当組合事務所で、２団体は現地に職員を派遣して研修会を行いました。

研修会では乳牛改良の講習後、RIUS（ライアス）の機能説明を行い、実際にパソコンやスマホで体験していただきました。参加者からは歴代成績ランキングや子牛の成績一覧に関心が集まり、思い入れのある牛の過去と未来（子孫）を振り返ることができる良い機能だと仰っていただきました。

RIUSに限らず、乳牛改良や血統登録など当組合事業に関する研修のご依頼は随時承っております。研修場所もご依頼に合わせて対応いたします。

「RIUSを使ってみたいけれどよくわからない」「詳しい話を聞きたい」という方はぜひお気軽にご相談ください！

Holstein Café「White」

Holstein Café「White」は 酪農に関わる（時には関わらない）四方山話しを掲載させていただいています。今月のお話しは『フランスで開催された世界会議その２「英会話」』です。　－店主 White－

先月号に引き続き2023年11月にフランスで開催された世界ホルスタインフリージアン会議の余談をお話しさせていただきます。

世界会議での進行は全て英語で行われました。従って、参加者のほとんどが自国語に加えて英語が話せる人たちです。私自身は通訳とスマホの翻訳アプリで会議内容の理解を図りましたが、日本語オンリーの自分に少々情けなさを感じました。学生時代、英語は不得手ではなく成績も悪くはなかったのですが英会話は出来なく、教育の仕方が悪いと考えたことも有りましたが、自ら英会話の場に入りアウトプットしなかったから話せないのだと思っています。

何度かあった海外旅行のたびに「英語で話したかった」と後悔していたので、今回の世界会議での私的ミッションは〝英会話〟でした。参加が決まる前から初歩の英会話レッスンに取り組みました。そして、いざ出発！、まずは飛行機の中でのCAさんとの英会話は初歩中の初歩、食事で難なくチキンを選び、赤ワインを頼み、仕上げにコニャックをいただき、お代わりの問い掛けに「I'm good」と答えました。いい感じです。次が緊張の入国審査、イミグレです。必要となる会話のフレーズは練習を重ねて準備万端でしたが拍子抜けしました。不機嫌そうな表情の審査官は顎と目線で「こっちへ来い」と私を呼び、手元のパスポートを指さしました。渡したパスポートを審査官はペラペラめくりスタンプをポンと押してポイと私に戻し、またも顎で「向こうに行け」でした。一言の会話もなく、用意したいくつかのフレーズがヒュ～と霧散してしまいました。残念です。旅行中に何度かあった会話のチャンスも二言三言のやり取りで終わり、今回の旅行も少々の後悔が残りました。

ホルスタイン・ビル に同居する保育所では、定期的に英会話教育が行われています。単語と２・３語から始まるとのことですが、幼児の頃から英会話の機会を常に得ながら高校を卒業する頃まで継続すれば、普通に英語を話せるようになるだろうと考えます。酪農の後継者とそのたまごたちも同様に、学びと実践、じっくりしっかり育ってもらい、ワールドワイドな酪農家・酪農人になって欲しいと願います。

-White-　No.13

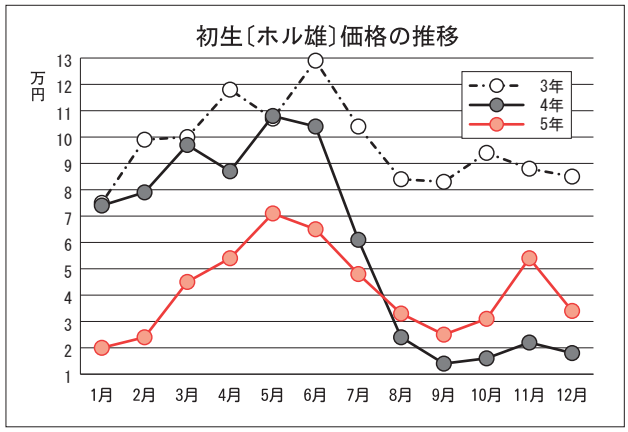
北海道ホルスタイン農協　家畜市場成績

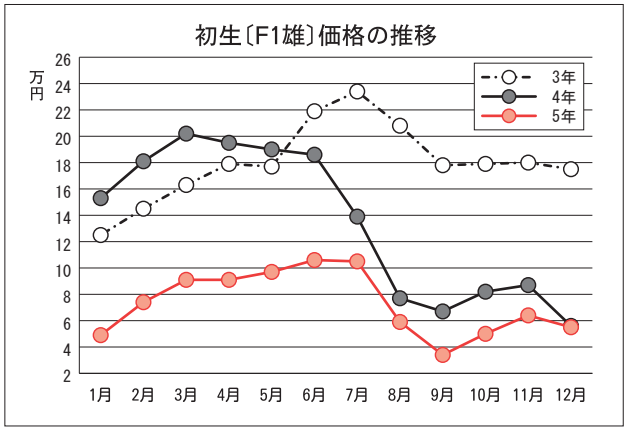
初生〔ホル雄・F1雄・F1雌〕平均価格の推移

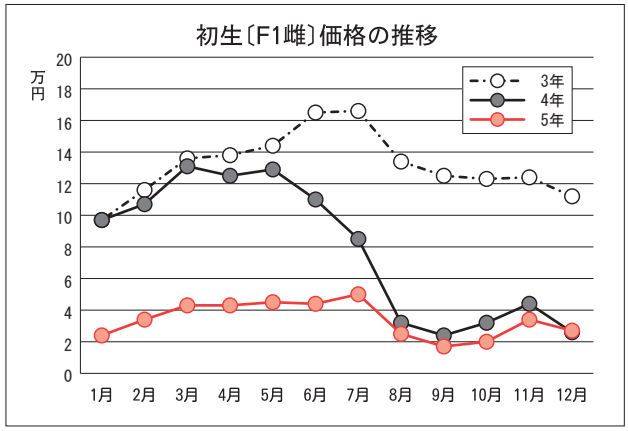
（単位：万円）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ホル雄	2.0	2.4	4.5	5.4	7.1	6.5	4.8	3.3	2.5	3.1	5.4	3.4
F1雄	4.9	7.4	9.1	9.1	9.7	10.6	10.5	5.9	3.4	5.0	6.4	5.5
F1雌	2.4	3.4	4.3	4.3	4.5	4.4	5.0	2.5	1.7	2.0	3.4	2.7

（税込）







最近の家畜市場成績　（1月23日開催）

種　類	内　　訳	出場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格
乳用牛	育成牛	5 頭	5 頭	298,100 円	159,500 円	205,260 円
	初妊牛(88%以上)	－	－	－	－	－
	初妊牛(88%未満)	－	－	－	－	－
	経産牛	－	－	－	－	－
初生犢	ホル雄	76	71	121,000	1,100	36,343
	ホル雌	4	4	199,100	83,600	136,400
	ホルフリー	－	－	－	－	－
	黒毛雄	1	1	382,800	382,800	382,800
	黒毛雌	2	2	207,900	115,500	161,700
	F1雄	80	77	119,900	1,100	39,600
	F1雌	54	54	59,400	1,100	14,280
	乳用種雄	－	－	－	－	－
	乳用種雌	－	－	－	－	－
	肉専用雄	－	－	－	－	－
	肉専用雌	－	－	－	－	－
肉用牛	1年以上ホル雌牛	61	61	245,300	56,100	163,107
	その他肉用牛	27	27	937,200	145,200	390,174
馬	馬	－	－	－	－	－
めん山羊	緬山羊	－	－	－	－	－
合　計		310	302	937,200	1,100	97,168

（税込）

乳牛予想相場表

（令和６年２月予想）

規格	月　齢	中	上
88%血統未満	６～８ヶ月	20～24 万円	25～ 万円
	９～11 〃	24～27	28～
	初妊牛	45～50	50～
88%同上以概上ね	６～８ヶ月	20～24	25～
	９～11 〃	24～27	28～
	初妊牛	45～50	50～
成績証明娘牛	６～８ヶ月	22～26	27～
	９～11 〃	25～29	30～
	初妊牛	48～52	52～

（注）初妊牛は４～５月に分娩するもの。

ひとこと

令和６年も早くも１ヵ月が過ぎ、皆さんも行事に追われて忙しい日々をお過ごしのことと思います。

さて、今年は辰年、４回目の『年男』を迎え振り返ってみると体力、筋力は20代に比べると衰えを感じることが多くなりましたが、私の人生いろんな事があったな～と思い出に浸る今日この頃です。高校卒業と同時に憧れの大地『北海道』に来てあっという間に30年現在に至っています。現在、私は子育て真っ最中で、娘が２才・息子が９ヵ月でかわいい盛りです。仕事柄出張が多いため子供たちといっしょにいる時間が少ないのが現状ですので、休日にはできるだけ子供たちの世話をして『パパっ子』になって欲しく頑張っております。また、私の出張中には、ひとりで子育てをしている妻には感謝しており育児の負担が多少でも軽減できるように協力しています。子供たちの成長は日々目覚ましく、出張から帰った時の子供たちの成長スピードに驚かされることも多いです。これからも健康ですくすく育ってくれることを心から願っております。

2024年も家族みんな揃って、年男パワーで幸せな１年にしたいと思っています。

今年も健康に気を付けて業務に邁進して参ります!!

（T･T）

頒価 100 円（組合員の購読料は賦課金に含まれています）